

科目名	【グローバルコミュニケーション】 グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	ILC
教員の略歴	* 2015~2021.3 英会話イーオン 非常勤教師 * 2021.5~ 株式会社国際教育社 ILC国際語学センター 非常勤英語教師として勤務						
授業の学習内容	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
到達目標	自宅での生活について話すことができる。ブログ記事を読み、書くことができる 自身のスキルや能力について話すことができる。自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。 旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	「現在進行形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ。自宅周辺の生活について話すことができる。
2	「現在進行形」疑問形を学ぶ。旅行について話すことができる。
3	[-ing]の発音を学ぶ。電話でニュースを伝えることができる。
4	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書くことができる。
5	定期試験: Time to Speak:「最近の生活について話す」後期発表と連動する内容
6	[Can/Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話すことができる
7	[Can/Can't](可能性)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。職場・学校において、できること・できないことについて話すことができる
8	自分の意見を述べる事ができる
9	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書くことができる
10	定期試験: Time to Speak:「自国民が何が得意化について話す」後期発表と連動する内容
11	[This/These]の使い方を学ぶ。休暇、旅行について話すことができる
12	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ; 使い分けがわかる。旅行計画を立てることができる
13	お店で情報を確認することができる
14	旅行ガイドを読む、また場所の説明を聞く
15	定期試験: Time to Speak:「休暇の予定をたてる」後期発表と連動する内容
【使用教科書・教材・参考書】	
EVOLVE 1	

科目名	【キャリア教育】 キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務						
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく						
到達目標	自分の興味や能力を考慮しながら、様々な職業やキャリアの可能性を探求する能力を身につけます。自己分析や職業リサーチのスキルを磨き、自身の目標や適職を見つけるための情報収集能力を向上させます。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ①
2	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ②
3	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる①
4	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる②
5	主体性ワークショップができる
6	計画力ワークショップができる
7	傾聴力ワークショップができる
8	発信力ワークショップができる
9	ホスピタリティについて学ぶ①
10	ホスピタリティについて学ぶ②
11	ホスピタリティについて学ぶ③
12	チームワークワークショップができる
13	創造力ワークショップができる
14	働きかけワークショップができる
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【キャリア教育】	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
	キャリア教育(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
学科・コース	音楽ビジネス科						
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務						
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく						
到達目標	将来の目標を明確にし、それに向けたキャリア計画を立てる能力を身につけます。自分の興味や価値観に基づいてキャリアゴールを設定し、その達成に向けた具体的なステップや行動計画を作成します。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	面接礼法について実践できる①
2	面接礼法について実践できる②
3	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる①
4	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる②
5	履歴書の書き方について理解する
6	履歴書が書くことができる
7	SDGsについて理解できる
8	目標達成シートを書くことができる①
9	目標達成シートを書くことができる②
10	組織に入るということについて理解できる①
11	組織に入るということについて理解できる②
12	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる①
13	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる②
14	電話マナー/メールマナー・名刺の渡し方を実践することができる
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【企画演習】 アーティストプロモーション 基礎知識 (1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	レコード会社などで長年アーティストや作品のプロモーションに携わり、多種多様な経験を積んでいる。						
授業の学習内容	①エンタテインメント業界の中では常識的に知られている事を幅広く取り上げ、業界内の最低限の知識を身に付ける為の授業。②全ての授業との関連性有り。③知識や情報を吸収して、目指す職業に就く為の頭の中の基礎体力を付けるのと同時に、2年生で受講する「より専門性の高い授業」の基礎知識となる部分もある。以上の事を踏まえて、音楽関係の仕事をする為に必要な事を広範囲に取り上げます。						
到達目標	①習得する事は業界内でのモノの見方ですので、今までの一般人としての見方とは違う角度からアーティストやタレント、そして進行中の物事などを見る事が出来るようにすると同時に、2年生で受講する授業の基礎知識になる部分も含まれるので、しっかりと理解して次のステップへの準備を整える。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	ガイダンス(シラバスの説明を含む)を理解できる
2	業界内相関図／アーティストを取り巻く企業や人を理解できる
3	インディーズとメジャー、アーティストとタレントそれぞれの違いを理解できる
4	ディスカッションまたは補足知識などで理解を深めることができる。
5	音楽産業を支えるJ-POPと、旗艦産業のレコード会社①の基本を理解できる。
6	レコード会社②過去／日本の音楽シーンの変遷とレコード会社の役割を理解できる。
7	レコード会社③現在／パッケージとノンパッケージ、音楽の売り方の変遷を理解できる。
8	レコード会社④未来／ストリーミングを巡る動きを理解できる。
9	ディスカッションまたは補足知識などで理解を深めることができる。
10	音楽産業の未来①音源ビジネスの現状と行方を理解できる。
11	音楽産業の未来②音源から得られる収入の仕組みを理解できる①
12	音楽産業の未来③音源から得られる収入の仕組みを理解できる②
13	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる①
14	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる②
15	【定期試験】イベントを通しての知識定着の確認ができる

【使用教科書・教材・参考書】

教科書などはありません。必要な資料などは必要に応じて配布します。

科目名	【企画演習】 アーティストプロモーション 基礎知識 (2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	レコード会社などで長年アーティストや作品のプロモーションに携わり、多種多様な経験を積んでいる。						
授業の学習内容	①エンタテインメント業界の中では常識的に知られている事を幅広く取り上げ、業界内の最低限の知識を身に付ける為の授業。②全ての授業との関連性有り。③知識や情報を吸収して、目指す職業に就く為の頭の中の基礎体力を付けるのと同時に、2年生で受講する「より専門性の高い授業」の基礎知識となる部分もある。以上の事を踏まえて、音楽関係の仕事をする為に必要な事を広範囲に取り上げます。						
到達目標	①習得する事は業界内でのモノの見方ですので、今までの一般人としての見方とは違う角度からアーティストやタレント、そして進行中の物事などを見る事が出来るようにすると同時に、2年生で受講する授業の基礎知識になる部分も含まれるので、しっかりと理解して次のステップへの準備を整える。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	前期総括と後期授業の展望を理解することができる。
2	音楽産業の未来④/フィジカル商品の現状と今後展望を理解できる。
3	プロデューサー、サウンドプロデューサー、A&Rそれぞれの役割を理解できる
4	オールドメディア①/インターネット時代のオールドメディアの在り方を理解出来る
5	オールドメディア②/テレビの仕組みと利用法を理解出来る
6	オールドメディア③/ラジオと音楽業界の関係性を理解出来る
7	オールドメディア④/ラジオの仕組みと利用法を理解出来る①
8	オールドメディア⑤/ラジオの仕組みと利用法を理解出来る②
9	ディスカッションまたは補足知識などで理解を深めることができる
10	イベンター①/仕事内容と存在意義を理解出来る
11	イベンター②/ライブとプロモーションの関係性を理解出来る
12	具体的なラジオ、テレビプロモーションについて考えることができる
13	SNSを活用したプロモーション提案ができる
14	【定期試験】学校イベントで、各プロモーションの実践ができる
15	1年間の授業を振り返り、学んだ事などの総括ができる。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書などはありません。必要な資料などは必要に応じて配布します。

科目名	【照明技術演習】 イベントプロジェクト対策(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	佐々木萌
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	照明卓の操作基礎を学ぶ。灯リレーターを作りオペレートが出来る
2	イベント(学祭)に向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る
3	イベント(学祭)に向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
4	イベント(学祭)に向けての情報収集と準備が出来る
5	イベント(学祭)を終えて反省と次のイベントに向けての心構えを学ぶ
6	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
7	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る②
8	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る①
9	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る②
10	9月イベントに向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
11	9月イベントに向けての情報収集と準備が出来る
12	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る①
13	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る②
14	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る③
15	前期定期試験

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他

科目名	【照明技術演習】 イベントプロジェクト対策(2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
	学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
2	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
3	昨年のミュージカルの映像を見て内容を理解出来る
4	ミュージカルに向けて担当を決め灯りをプラン出来る
5	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る①
6	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る②
7	ミュージカル終えての灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る
8	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る①
9	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る②
10	イベント(We are)に向けて担当を決め灯りのプランと取り組み方が出来る
11	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る
12	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る①
13	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る②
14	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る③
15	後期定期試験

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他

科目名	【映像技術】 Logic & ProToolsベーシック(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	小野貴博
教員の略歴	北海道を拠点に活動する、ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。北海道苫小牧市出身。1985年生まれ。13歳でベースを、18歳に入学した札幌サウンドアート専門学校にて、本格的にギターを始める。在学中、パークレー音楽院出身の佐田慎介氏に師事。2010年、Violent is Savanna(ヴァイオレント・イズ・サバンナ)のギタリスト、コンポーザーとして、Avexよりメジャー・デビュー(サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ジョーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける)。2013年の脱退後は、帰郷した北海道から世界へ、楽曲提供・制作を中心に、レコーディング、ツアー・サポートなど幅広く活躍。絵本作家 そらが掲げる“絵本大国 北海道”に共鳴し、2016年より、THE NORTHERNLIGHTS ORCHESTRA(ザ・ノーザンライツ・オーケストラ)のギタリスト、作・編曲家、共同プロデューサーとして、読み聞かせ『音育(おとこく)』プロジェクトに参加。						
授業の学習内容	DTMソフトを使用した音楽制作テクニックの応用と、高度な技術まで紹介し、作りたい音楽により近づけるようにする力を養う。コンピューターの基本的な操作、技術から学び、より効率的な作業方法と音楽制作を学ぶ。						
到達目標	音楽制作に必要な知識を学び、作りたい音楽を直感的にDTMソフトを操作できるようにし、その作業をより早く熟す事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	DTMソフト(Apple Logic Pro)の概念を理解する
2	DTMソフト(Apple Logic Pro)の基本操作を理解する
3	Apple Logic Proの基本的なショートカットキーを理解する①
4	Apple Logic Proの基本的なショートカットキーを理解する②
5	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる①
6	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる②
7	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる③
8	Apple Logic Proの高度なショートカットキーを理解できるようになる①
9	Apple Logic Proの高度なショートカットキーを理解できるようになる②
10	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる④
11	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる⑤
12	Apple Logic Proを使った制作が出来るようになる⑥
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【 映像技術 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	Logic & ProToolsベーシック (2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	小野貴博
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	北海道を拠点に活動する、ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。北海道苫小牧市出身。1985年生まれ。13歳でベースを、18歳に入学した札幌サウンドアート専門学校にて、本格的にギターを始める。在学中、パークレー音楽院出身の佐田慎介氏に師事。2010年、Violent is Savanna (ヴァイオレント・イズ・サバンナ)のギタリスト、コンポーザーとして、Avexよりメジャーデビュー(サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ヨーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける)。2013年の脱退後は、帰郷した北海道から世界へ、楽曲提供・制作を中心に、レコーディング、ツアー・サポートなど幅広く活躍。絵本作家 そらが掲げる“絵本大国 北海道”に共鳴し、2016年より、THE NORTHERNLIGHTS ORCHESTRA(ザ・ノーザンライツ・オーケストラ)のギタリスト、作・編曲家、共同プロデューサーとして、読み聞かせ『音育(おといく)』プロジェクトに参加。						
授業の学習内容	DTMソフトを使用した音楽制作テクニックの応用と、高度な技術まで紹介し、作りたい音楽により近づけるようにする力を養う。コンピューターの基本的な操作、技術から学び、より効率的な作業方法と音楽制作を学ぶ。						
到達目標	音楽制作に必要な知識を学び、作りたい音楽を直感的にDTMソフトを操作できるようにし、その作業をより早く熟す事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	DTMソフト(Avid Pro Tools)の概念を理解する
2	DTMソフト(Avid Pro Tools)の基本操作を理解する
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	Avid Pro Toolsの基本的なショートカットキーを理解する①
6	Avid Pro Toolsの基本的なショートカットキーを理解する②
7	Avid Pro Toolsを使った制作が出来るようになる①
8	Avid Pro Toolsを使った制作が出来るようになる②
9	Avid Pro Toolsを使った制作が出来るようになる③
10	Avid Pro Toolsの高度なショートカットキーを理解できるようになる①
11	Avid Pro Toolsの高度なショートカットキーを理解できるようになる②
12	Logic Pro, ProTools を使用して作品制作を完成出来るようになる①
13	Logic Pro, ProTools を使用して作品制作を完成出来るようになる②
14	Logic Pro, ProTools を使用して作品制作を完成出来るようになる③
15	【定期試験】卒業・進級制作展 We are で 今までに学んだことを活かし、パフォーマンスができるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【 音楽制作 】 BandEnsemble(6)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	三藤 淳 折原 一寿
学科・コース	音楽ビジネス科						
教員の略歴	三藤淳/北海道芸術高等学校講師・MIミュージックジャパン エッグ 個人レッスン楽曲制作25年 折原寿一/プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆						
授業の学習内容	課題曲を使い、各パート月それぞれ良いアンサンブルが出来るための授業						
到達目標	曲に応じてさまざまな歌い方と、アンサンブルを学び、よりスキルを上げて高い歌唱力を身につける事が目標						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	課題曲【Englishman in NY】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
2	裏拍と、スイングを感じて、脱力した歌い方で、アンサンブルできるようになる
3	課題曲【I wish】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
4	細かな跳ね具合を感じて、ややシャツフルな歌い方を身につける
5	課題曲【Street Life】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
6	グルーブを感じて、カッコ良く、疾走感のある表現ができる歌い方を身につける
7	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
8	グルーブを感じてステージなどでも役に立つパフォーマンスを身につける
9	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
10	ユニゾンの正確性と、アドリブでフェイクする技術を学び、アンサンブルをしっかりと完成させる
11	課題曲【Spain】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
12	後期テスト 自分の課題点を見つけることができる。
13	WeAre週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる
14	WeAre週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	WeAre本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 音楽制作 】 Band Ensemble(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	小野 貴博 寺田 英夫
教員の略歴	ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ショーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける”						
授業の学習内容	課題曲による合奏形式の実践的歌唱を習得する。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を養う。この授業ではアンサンブルをメインに行うため、事前準備の授業でしっかりと課題曲を演奏できるように学ぶ事が重要。						
到達目標	フレーズ分析と再現から技術を習得し、バリエーションと音楽知識を広げ、サウンド及び合奏の理解を深める。各ジャンルの演奏を素早く熟せるようになる事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	楽曲1を分析し、構造を理解できるようになる
2	楽曲1について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる
3	楽曲2を分析し、構造を理解できるようになる
4	楽曲2について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる
5	楽曲における休符の感じ方と重要性について理解でき、演奏表現できるようになる
6	シャッフルのビート感を理解でき、演奏表現できるようになる
7	シャッフルのバリエーションを理解し、演奏表現できるようになる
8	楽曲ごとの音作りについて、既存機材を用いた音作りを理解できるようになる
9	エフェクターを用いた音作りを理解し、表現できるようになる
10	ポピュラーミュージックにおける、コンプレッサーの重要性を理解できるようになる
11	コンプレッサーを使用した変化を研究し、表現できるようになる
12	後期テストを通じて応用的な表現方法を身に着ける
13	WeAre週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる
14	WeAre週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	WeAre本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OFLINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合い。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いが出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いが出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	【定期試験】学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントのプレゼンが出来るようになる
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OFLINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成 今期の反省、来季に向けての話し合いが出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	フェーダーワークで音量バランスを取れるようになる
2	既存の音源を使用し、波形編集が出来るようになる
3	Rockを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
4	EQ(イコライザー)の使用方法を理解し、音質調整が出来るようになる
5	Funkを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
6	コンプレッサーを使用し、音量変化の調整を出来るようになる
7	プリ・ポストの信号の流れを理解し、複雑なエフェクト調整が出来るようになる
8	HipHopを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	リバーブを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
10	Discoを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	ディレイを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
12	【定期試験】前期に学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	オートメーション使用してフェーダーワークを自動化できるようになる
2	Bluesを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
3	FlexTime/FlexPitchを使用し、音声補正を出来るようになる
4	Countryを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
5	モジュレーションエフェクトの使用方法を理解出来るようになる。
6	Jazzを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
7	歪み系エフェクターを活用できるようになる
8	Bossanovaを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	サイドチェインの機能を理解できるようになる
10	Houseを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	マキシマイザーを使用し、音圧を上げる事が出来るようになる
12	【定期試験】後期で学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【音響技術】 PAベーシック(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍						
授業の学習内容	①PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識を学ぶ ②使用機材の名前、用途、扱い方、仕込み図を見て機材設営を学ぶ ③学んだ知識を使い、複数名で協力して作業を進める						
到達目標	①機材の名前、用途を理解する ②音声信号の流れを理解し、簡単なPAセットを組めるようになる ③仕込み図を理解する ④他者とコミュニケーションをとり円滑に作業をできるように ⑤学内イベントを経験し、 なる 達成感、自信をつける						
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	PAエンジニアとしての心得、仕事内容を理解する/現場で使用するケーブル、コネクターの名称、用途を知ることができる
2	機材の設営、撤去、安全作業について知る/ケーブルの8の字巻き、マイクスタンドの設営を理解できる
3	簡単な仕込み図を見て設営を知る/機材と機材の配線方法を知ることができる
4	簡単な仕込み図を見て設営を理解できる
5	学園祭準備、個々の作業内容の理解できる
6	ミキサーの機能、機材の名称を知ることができる
7	デジタルミキサーについて学ぶ①
8	デジタルミキサーについて学ぶ②
9	マイク、スピーカー、パワーアンプの機能を知ることができる①
10	マイク、スピーカー、パワーアンプの機能を知ることができる②
11	マルチウェイスピーカーの設営を理解できる①
12	マルチウェイスピーカーの設営を理解できる②
13	小規模イベント程度の仕込み図を見て設営設営の順序、効率の良い設営を理解できる①
14	小規模イベント程度の仕込み図を見て設営設営の順序、効率の良い設営を理解できる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【音響技術 PAベーシック(2)】	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
学科・コース	音楽ビジネス科						
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍						
授業の学習内容	①PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識を学ぶ ②使用機材の名前、用途、扱い方、仕込み図を見て機材設営を学ぶ ③学んだ知識を使い、複数名で協力して作業を進める						
到達目標	①機材の名前、用途を理解する ②音声信号の流れを理解し、ホールの機材を組めるようになる ③仕込み図を理解する ④作業に関わる人とコミュニケーションをとり、役割分担 ⑤学内イベントを経験し で効率良く作業できるようになる て、達成感、自信をつける						
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	音声分岐、モニターエンジニアについて知ることができる①
2	音声分岐、モニターエンジニアについて知ることができる②
3	音声分岐、モニターエンジニアについて理解することができる①
4	音声分岐、モニターエンジニアについて理解することができる②
5	サウンドチェックの方法を知ることができる①
6	サウンドチェックの方法を知ることができる②
7	デジタルミキサーについて学ぶ①
8	デジタルミキサーについて学ぶ②
9	エフェクターの効果、違いを学ぶ
10	ワイヤレスマイクの設営を理解することができる
11	デジタルミキサーについて学ぶ
12	ミュージカル準備、校内でのリハーサルを元に現場作業を学ぶ
13	少人数でバンド編成の設営、撤去、コミュニケーションの重要性を学ぶ
14	少人数でバンド編成の設営、撤去、コミュニケーションの重要性を理解できる
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【デジタルファウンデーション】 デジタルファウンデーション(1)	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	水島 直樹
教員の略歴	デザイン系専門学校卒。 ゲーム制作会社にてアートディレクターとして勤務後、フリーイラストレーターとして活動。 現在はグラフィックデザインも含め、デザイン全般の業務を受け持つ。						
授業の学習内容	・ Adobe illustrator、Adobe Photoshopの使い方を学ぶ						
到達目標	・ フライヤーやポートフォリオを制作できるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	【授業のオリエンテーション】① ・ ディスコード、各種ソフトの導入 ・ 寿司打を使用したタイプライティング練習・ショートカットキーの紹介 ・ ショートカットキー表の制作
2	【授業のオリエンテーション】② ・ ポートフォリオとは何か ・ illustratorを使ったポートフォリオの紹介 ・ ウェブサイトを使ったポートフォリオの紹介
3	【Ai】 Adobe illustratorの基本操作理解 ・ 新規アートボードの作成及び設定 ・ ツールパネルについての紹介 ・ 選択ツールの使い方
4	【Ai】 Adobe illustratorの基本操作理解 ・ 図形ツール、文字ツールの使い方 ・ ペンツール、アンカーポイントツールの使い方 (バウンディングボックス・ハンドルの使用方法)
5	【Ai】 Adobe illustratorの基本操作理解 ・ グラデーションツール、変形ツールの使い方 (パスファインダー) ・ クリッピング機能の使い方
6	【Ps】 Adobe Photoshopの基本操作理解 ・ 画面構成、パネル、デジタル画像仕組みの紹介 ・ 画像解像度についての紹介、実践 ・ 写真の色補正機能についての紹介 (フィルター効果、グラデーションツールの使い方)
7	【Ps】 Adobe Photoshopの基本操作理解 ・ 選択範囲の紹介 ・ 選択範囲の切り抜き、マスク機能、コンテンツに応じた塗りつぶしの紹介 ・ ゴミや不要物の消し方の紹介
8	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 作成するポートフォリオのイメージ作成・素材制作 (一律A4サイズで作成)
9	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ ポートフォリオ内で使用する素材制作、作品画像の補正・EPSファイル化
10	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 制作した素材、作品画像の配置、文字構成①
11	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 制作した素材、作品画像の配置、文字構成②
12	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 制作物のプリントアウト、色構成のチェック・修正①
13	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 制作物のプリントアウト、色構成のチェック・修正②
14	【Ai】 【Ps】 ポートフォリオ制作実践 ・ 制作物のプリントアウト、色構成のチェック・修正③
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	
・ 配色アイデア手帖 めくって見つける新しいデザインの本[完全保存版] SBクリエイティブ 1,980円+税	

科目名	【デジタルファウンデーション】	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
	デジタルファウンデーション	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	水島 直樹
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	過去にオンラインでのゲームイベントを350回以上開催する その中で使用するタイトルテロップなどを制作 現在は各イベントの配信オペレーターや配信後の動画制作などを手掛けている						
授業の学習内容	①動画制作アプリケーションであるPremiereProやAfterEffectsを使用して動画を制作する ②動画を彩るエフェクトやテロップを挿入する方法・手順						
到達目標	切り抜き動画が制作できるようになる						
評価方法及び基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	adobeCCの契約と導入・各ソフトのインストール方法 著作権について 動画編集に使用するアプリケーションの紹介とそれぞれの得意不得意について PremiereProのワークフロー・ワークスペースの解説及びファイル管理について 最終目標制作物の提示
2	【Pr】 PremiereProの基本操作理解 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力及び動画書き出し ミュージックビデオに歌詞を追加する文字ツールの使い方 エッセンシャルグラフィックスの使用法
3	【Ae】 AfterEffectsの基本操作理解 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成及び素材読み込み 画面サイズとフレームレートについて 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成及び動画書き出し方法を学ぶ
4	【Ae】 AfterEffectsの基本操作理解 テキストモーションの制作 モーションブラーとエフェクトコントロールの使用 ビデオエフェクト及び調整レイヤーの使い方
5	【Pr】 切り抜き動画のカット編集 カットをしながらストーリーを組み立て手順 スピーカーが複数いるときの字幕挿入
6	【Pr】 【Ae】 動きのあるグラフィックを挿入してみる キーフレームのイーズインイーズアウトのつけ方（速度グラフ） テキストアニメーションプリセットの使用
7	【Pr】 モザイク処理とマスクの使用法 レイヤー構造の理解 ストップモーション・スローモーションエフェクト(タイムリマップ)とオプティカルフロー フレームの保存方法
8	【Pr】 インタビュービデオの字幕挿入方法 キャプションとテキストスタイルの使い方 【Pr】 サウンドエフェクトの使用と調整 ノイズ除去とノーマライズについて トラックごとの音量バランスを調整する方法
9	【個人制作】 切り抜き動画素材の収集とカット編集を行う
10	【個人制作】 字幕とアニメーションを追加する①
11	【個人制作】 字幕とアニメーションを追加する②
12	【個人制作】 サウンドの調整と書き出し Youtubeにアップロードする方法①
13	【個人制作】 サウンドの調整と書き出し Youtubeにアップロードする方法②
14	制作発表会
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 照明技術 】 照明ベーシック(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。現在は主に照明プラン、イベント図面プラン、舞台監督を主に行っております。							
授業の学習内容	この授業を受け、舞台に関する基礎と照明に関する基礎を身に着ける。学校のホールを基本とし、外部のイベントなどで、他のホールに行っても、少しでも動けるようになり、危険なことを無くし、与えられた時間内に作業を終える力を身に着ける。							
到達目標	基礎をしっかりと身に着ける。本番オペレートするまでにどれだけの作業が必要なのかを、しっかりと覚える。学校外でも照明作業に参加できるようになる。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	テキストを使用して舞台、テレビ照明の用語や中身、構築について覚えることができる
2	テキストを使用して照明で扱う機材 スポット、卓(コンソール)、カラーフィルターを覚えることができる
3	基礎実践(照明機材、コンソールを使つてのライティングの基礎)一般照明、LED機材、PINSPOTを学ぶ
4	テキストを使用して舞台照明の現場 舞台機構、設備、図面、仕込、仮設電源について覚えることができる
5	仕込替え・LS-1での仕込み替えを体験して仕込の段取りを覚えることができる
6	テキストを使用してテレビ照明 物体の見え方の検証し、どの様に見えるかを覚えることができる
7	テキストを使用して照明をコントロールする仕組み、コンソール、ケーブルを理解できる
8	テキストを使用して照明家に必要な知識 電源、関係法令を理解できる①
9	テキストを使用して照明家に必要な知識 電源、関係法令を理解できる②
10	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる①
11	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる②
12	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる③
13	基礎実践・課題曲で明かり作りができる①
14	基礎実践・課題曲で明かり作りができる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし(プリント用意します)	

【 照明技術 】		必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
照明ベーシック(2)		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
科目名							
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴38年目を迎えます。現在は主に照明プラン、イベント図面プラン、舞台監督を主に行っております。						
授業の学習内容	この授業を受け、舞台に関する基礎と照明に関する基礎を身に着ける。学校のホールを基本とし、外部のイベントなどで、他のホールに行っても、少しでも動けるようになり、危険なことを無くし、与えられた時間内に作業を終える力を身に着ける。						
到達目標	基礎をしっかりと身に着ける。本番オペレートするまでにどれだけの作業が必要なのかを、しっかりと覚える。学校外でも照明作業に参加できるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績による評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる
2	テキストを使用してより深い理解の為に。歴史を覚えることができる
3	高所作業 ジニーを使い安全に作業ができる
4	DMX信号、ケーブルの作成ができる
5	機材メンテナンス (機材のクリーニング、ケーブルのメンテナンス)を学ぶ
6	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる①
7	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる②
8	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる③
9	基礎実践・課題曲で明かり作りができる①
10	基礎実践・課題曲で明かり作りができる②
11	基礎実践・課題曲で明かり作りができる③
12	基礎実践・課題曲のオペレートができる①
13	基礎実践・課題曲のオペレートができる②
14	基礎実践・課題曲のオペレートができる③
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし(プリント用意します)	

科目名	【作詞・作曲・編曲】 スタジオワークベーシック(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	鶴羽宏一
教員の略歴	音響スタッフ入社後、ヒットスタジオのメインエンジニアとして、レコーディング、PA業務に携わる。令和2年より、株式会社ヒットスタジオの代表取締役役に就任、エンジニア業務、ヒットスタジオの経営にも携わる						
授業の学習内容	基礎的な音響理論、機材知識を吸収し、レコーディングスタジオを多角的に使いこなし、実務的なレコーディングの作法を学ぶ。ミュージシャンとコミュニケーションを取りながら要望を形にできる人材の育成を目指す。						
到達目標	校内のレコーディングスタジオを使いこなせるようになり、1人でもレコーディングを完結させられる技術と知識を身につける。他コースの学生、講師、外部のミュージシャンと意思疎通を図るコミュニケーション能力を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	レコーディングデモンストレーションから、レコーディングの仕事を理解出来るようになる。
2	前回の復習から課題の設定する。
3	ミキシングデモンストレーションから、ミキシングの仕事を理解出来るようになる。
4	前回の復習から課題の設定を行う。
5	コンソール・MTR等のレコーディング機材の使用方法を理解出来るようになる。
6	マイクの特性・マイキング方法を理解出来るようになる。
7	レコーディングのオペレーション・アーティストのとのコミュニケーションの取り方が理解出来るようになる。
8	実習を通して、ドラムのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
9	実習を通して、ギター・ベースのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
10	実習を通して、ヴォーカルのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
11	前回までに収録した素材を用い、ドラム・ベース・ギターのミキシングが出来るようになる。
12	前回ミキシングをした楽器類に加え、ヴォーカルのミキシングが出来るようになる。
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。①
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。②
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【作詞・作曲・編曲】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	スタジオワークベーシック(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	鶴羽宏一
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	音響スタッフ入社後、ヒットスタジオのメインエンジニアとして、レコーディング、PA業務に携わる。令和2年より、株式会社ヒットスタジオの代表取締役役に就任、エンジニア業務、経営にも携わる						
授業の学習内容	基礎的な音響理論、機材知識を吸収し、レコーディングスタジオを多角的に使いこなし、実務的なレコーディングの作法を学ぶ。ミュージシャンとコミュニケーションを取りながら要望を形にできる人材の育成を目指す。						
到達目標	校内のレコーディングスタジオを使いこなせるようになり、1人でもレコーディングを完結させられる技術と知識を身につける。他コースの学生、講師、外部のミュージシャンと意思疎通を図るコミュニケーション能力を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	アウトボード類を積極的に用いたドラム・パーカッションのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
2	アウトボード類を積極的に用いたベース・ギター・キーボードのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	アウトボード類を積極的に用いたヴォーカルのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
6	アウトボード類を積極的に用いたコーラスのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
7	前回までに収録した楽器類の素材を使用し、プラグインを積極的に用いたミキシングが出来るようになる。
8	前回までにミキシングした楽器類に加え、プラグインを積極的に用いヴォーカル・コーラスのミキシングが出来るようになる。
9	実技試験
10	マスタリング作業を理解出来るようになる。
11	音源制作におけるプロジェクト管理・データ管理等のトータルマネジメントを理解出来るようになる。
12	レコーディングスタジオのマシンルームのシステム構成を理解出来るようになる。
13	レコーディングスタジオのパッチベイ・ウォールパッチの構造を理解出来るようになる。
14	レコーディングスタジオのブースの音響調整(反響・吸音・防音)について理解出来るようになる。
15	We areにて学んだことを活かし、実践出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	ProToolsやLogicPro等のDAWを使った音楽制作ワークフローを学びながら、作曲・作詞・アレンジの技術を身につけていきます。作曲の手法を基礎から学びます。音楽理論やDAWのテクニック、サウンドアレンジを学びながら、楽曲制作の技術を高めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	音楽の3要素と作曲のプロセスを理解出来るようになる
2	MIDIとAUDIOとDAWを理解出来るようになる
3	デモ制作の手法を理解出来るようになる
4	インスピレーションとモチーフを理解出来るようになる
5	コード・プログレッション基礎を理解出来るようになる #1
6	コード・プログレッション基礎を理解出来るようになる #2
7	DAWテクニック基礎を理解出来るようになる #1
8	DAWテクニック基礎を理解出来るようになる #2
9	サウンドアレンジテクニック基礎を理解出来るようになる #1
10	サウンドアレンジテクニック基礎を理解出来るようになる #2
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	ProToolsやLogicPro等のDAWを使った音楽制作ワークフローを学びながら、作曲・作詞・アレンジの技術を身につけていきます。作曲の手法を基礎から学びます。音楽理論やDAWのテクニック、サウンドアレンジを学びながら、楽曲制作の技術を高めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	歌詞とメロディの合わせ方を理解出来るようになる #1
2	歌詞とメロディの合わせ方を理解出来るようになる #2
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	リズムックアプローチを理解出来るようになる #1
6	リズムックアプローチを理解出来るようになる #2
7	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
8	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
9	サウンドアレンジテクニック中級レベルを理解出来るようになる #1
10	サウンドアレンジテクニック中級レベルを理解出来るようになる #2
11	オーケストレーション基礎を理解出来るようになる #1
12	オーケストレーション基礎を理解出来るようになる #2
13	後期課題制作 #1
14	後期課題制作 #2
15	卒業・進級制作展 We are で 今までに学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【 プロデュース 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	ミュージックビデオ制作(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
学科・コース	音楽ビジネス科						
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける						
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。1年時は映画制作の基礎を解説しながら、演習・実習を重ね、発想力と想像力を持って映像を具現化する力を身につけます。						
到達目標	様々な映像作品を制作し、映像の骨組みを理解しつつ、演出技術を習得します。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	イントロダクション 映画・ドラマ・PVの基礎知識を学習し、自身の目標を設定出来る
2	様々な映画ドラマの考察が出来る
3	基礎的な映像の構成が出来る
4	基礎的な映像の演出・撮影が出来る
5	基礎的な映像の編集が出来る
6	基礎的なミュージックビデオシナリオを読解することが出来る
7	基礎的なミュージックビデオのシナリオ構成をつくる事が出来る
8	基礎的なミュージックビデオのシナリオを書くことが出来る
9	基礎的なミュージックビデオの企画立案が出来る①
10	基礎的なミュージックビデオの企画立案が出来る②
11	基礎的なミュージックビデオの制作が出来る①
12	基礎的なミュージックビデオの制作が出来る②
13	基礎的なミュージックビデオの撮影・編集が出来る①
14	基礎的なミュージックビデオの撮影・編集が出来る②
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】	
序盤はiPad・iPhoneのiMovieを使用します。また編集用のPCを使用します。	

科目名		【 プロデュース 】 ミュージックビデオ制作(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける							
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。 1年時は映画制作の基礎を解説しながら、演習・実習を重ね、発想力と想像力を持って映像を具現化する力を身につけます。							
到達目標	様々な映像作品を制作し、映像の骨組みを理解しつつ、演出技術を習得します。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	プリプロ① 基礎的な香盤表を制作出来る
2	プリプロ② 登場人物の設定をつくり出すことが出来る
3	プリプロ③ ロケハンやコンテ制作を実践出来る
4	プリプロ④ カメラテストを実践できる
5	撮影① カメラを扱い、撮影を実践出来る
6	撮影② 照明を組み立て、光をコントロール出来る
7	撮影③ 音声を収録することが出来る
8	撮影④ 出演者の演出することが出来る
9	撮影⑤ 撮影①から④を踏まえて、総合的にミュージックビデオの実践出来る
10	編集① Adobe premiere proでミュージックビデオの編集を実践出来る
11	編集② Adobe premiere proでミュージックビデオの編集を実践出来る
12	高度編集① Adobe premiere proでミュージックビデオのエフェクトを制作出来る
13	高度編集② Adobe premiere proでミュージックビデオのエフェクトを制作出来る
14	高度編集③ Adobe premiere proでミュージックビデオのエフェクトを制作出来る
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】 編集用のPCを使用します。	

科目名		【 イヤートレーニング 】 イヤートレーニング(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀 裕
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。							
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚である。しかし一朝一夕で身につくものではないため、この一年を通して感覚を鍛えていく。自分が出してる音、出したい音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。							
到達目標	3和音、4和音の構成と種類を理解し、メロディーの裏にあるコード、曲全体のコード進行を捉えることができる。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	3和音(トライアド)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。
2	ダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
3	Keyをチェンジしてダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
4	3和音(トライアド)の変化系を学び、トレースできるようになる。
5	3和音(トライアド)の展開形を学び、トレースできるようになる。
6	3和音(トライアド)のバリエーションを学び、トレースできるようになる。
7	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。
8	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。
10	4和音(セブンス)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。
11	4和音のダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
12	4和音(セブンス)の変化系を学び、トレースできるようになる。
13	4和音(セブンス)の展開形を学び、トレースできるようになる。
14	後期定期試験 後期学んだことの復習ができる。
15	後期試験解説 間違えた部分を見直し解釈することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
※学校から支給されたIpadを使用。接続可能なイヤホン・ヘッドホン持参必須。五線譜はこちらで用意します。資料は適宜配布予定。

科目名		【 ダンスファンダメンタル 】 BALLET初級(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	梶谷まい子
教員の略歴	2歳よりバレエを始め、2002年より指導に携わる。2005年より約2年アメリカコロラドバレエ団に所属。帰国後、日本で踊る。近年は意欲的に振付にも取り組んでいる。							
授業の学習内容	①体の柔軟性・体幹・筋力の必要性を学び、ケガをしにくい体づくりを目指す。 ②他のダンスにも、音楽性・表現力などを伸ばす。 ③体を自由自在に操れるようになり、踊ることを楽しめるようになる。 ④音楽と一緒に楽しく体を動かせるような授業を目指す。							
到達目標	①どのジャンルにも活かせる細く芯の強い体幹を作ることができる。 ②柔軟性を身につけ怪我のしにくい体を作ることができる。 ③バレエの動きを覚えることができる。 ④体と頭の両方を使い集中力の向上を図ることができる。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	自分の体と向き合う、知ることができる
2	立ち方の基本を身につけることができる
3	バレエに必要な動作とは何か考え実践することができる
4	足のポジションを覚えることができる
5	手のポジションを身につける
6	Plieの意味を理解できる
7	Tendu・Degageの動きを身につける
8	Rond De Jambeの刻々と変わっていくポジションを体に入れることができる
9	Frappeのひざ下の俊敏な動きをマスターできる
10	Fondu&Adagioの滑らかな動きを覚えることができる
11	Grand Battementsをダイナミックにできるようになる
12	覚えたパーレッスンをスムーズにこなせるように身につける
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	【定期試験】イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての基礎知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの基礎的な使い方の説明。
2	ProToolsの基礎的な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの基本的な使い方の説明と実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの説明と実践。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の説明と実践。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。①
14	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。②
15	【定期試験】イベントを通しての知識定着の確認。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【楽器演奏】 楽曲制作プロダクション(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての基礎知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の練習。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。①
14	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。②
15	【定期試験】イベントを通しての知識定着の確認。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	鈴木謙太郎
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	道内外、海外のテレビ番組、企業プロモーション、CMなどの制作						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	講師の経歴と、現在の映像業界全般について / 身の回りにある映像機器について正しく学ぶ(画面サイズなど)
2	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
3	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
4	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(基本的なエフェクト)が出来るようになる
5	テレビ画面の構成 / Adobe Illustrator、Photoshopについて、基礎的な使用方法を理解出来るようになる
6	Adobe Illustrator、Photoshopの、基礎的な使用方法が理解出来るようになる
7	アプリケーションを横断的に使って、テロップを入れる事が出来るようになる
8	Adobe Illustrator、Photoshopがより正確に使えるようになる(カーニングなど)
9	アプリケーションを横断的に使って、より実践的な画面構成が出来るようになる
10	Adobe After Effectの使い方が理解出来るようになる
11	After Effectを使って、簡単なタイトルを作ることが出来るようになる1
12	After Effectを使って、簡単なタイトルを作る事が出来るようになる2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントでの演出作品制作確認
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	鈴木謙太郎
教員の略歴	道内外、海外のテレビ番組、企業プロモーション、CMなどの制作						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	ビデオコンテンツ制作を企画できるようになる
2	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる1
3	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる2
4	After Effectを使った高度な合成が出来るようになる
5	After Effectを使った高度なアニメーションが作れるようになる
6	After Effectを使ったスローモーションのアイデアを考えられるようになる
7	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
8	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
9	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(マッチカット)
10	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(モンタージュ)
11	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 1
12	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントを通して演出に作品を完成できるようになる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【キャリア教育】 キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務						
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく						
到達目標	自己の強みや興味、価値観を理解し、自己を適切に表現する能力を発展させます。自己分析やフィードバックの受け取り方を学び、自信を持って自己をアピールする方法を習得します。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ①
2	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ②
3	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる①
4	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる②
5	主体性ワークショップができる
6	計画力ワークショップができる
7	傾聴力ワークショップができる
8	発信力ワークショップができる
9	ホスピタリティについて学ぶ①
10	ホスピタリティについて学ぶ②
11	ホスピタリティについて学ぶ③
12	チームワークワークショップができる
13	創造力ワークショップができる
14	働きかけワークショップができる
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【キャリア教育】	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	後期
	キャリア教育(4)						
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務						
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく						
到達目標	効果的なコミュニケーションスキルと人間関係構築能力を向上させます。チームでの協力やリーダーシップの発揮、他者との良好な関係構築など、職場や社会で必要とされるコミュニケーション能力を養います。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	面接礼法について実践できる①
2	面接礼法について実践できる②
3	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる①
4	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる②
5	履歴書の書き方について理解する
6	履歴書が書くことができる
7	SDGsについて理解できる
8	目標達成シートを書くことができる①
9	目標達成シートを書くことができる②
10	組織に入るといことについて理解できる①
11	組織に入るといことについて理解できる②
12	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる①
13	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる②
14	電話マナー/メールマナー・名刺の渡し方を実践することができる
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【照明技術演習】 イベントプロジェクト対策(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	佐々木萌
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	照明卓の操作基礎を学ぶ。灯リレーターを作りオペレートが出来る
2	イベント(学祭)に向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る
3	イベント(学祭)に向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
4	イベント(学祭)に向けての情報収集と準備が出来る
5	イベント(学祭)を終えて反省と次のイベントに向けての心構えを学ぶ
6	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
7	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る②
8	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る①
9	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る②
10	9月イベントに向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
11	9月イベントに向けての情報収集と準備が出来る
12	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る①
13	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る②
14	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る③
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他	

科目名	【照明技術演習】 イベントプロジェクト対策(4)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	後期
	学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
2	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
3	昨年のミュージカルの映像を見て内容を理解出来る
4	ミュージカルに向けて担当を決め灯りをプラン出来る
5	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る①
6	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る②
7	ミュージカル終えての灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る
8	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る①
9	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る②
10	イベント(We are)に向けて担当を決め灯りのプランと取り組み方が出来る
11	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る
12	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る①
13	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る②
14	イベントに向けてシミュレーションソフトでデーターの打ち込みが出来る③
15	後期定期試験

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他

科目名	【 音楽制作 】 BandEnsemble(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	加藤 菜保 森田 貴裕
教員の略歴	エレクトーンデモンストレーターを経て、ミュージックスクール、劇団などで、ボーカル指導、タレント育成を務めるほかシンガーソングライター、キーボーディスト、アレンジャーとしても活動						
授業の学習内容	課題曲を用いた、楽器演奏、歌唱をバンドスタイルで実践し、解説指導するアンサンブルにとって必要なコミュニケーション能力や、様々なジャンルの演奏スタイルを学び、実践に結びつける。						
到達目標	バンド演奏を通して、豊かな音楽表現、ステージパフォーマンスができるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容

回数	学習内容
1	ルパートのアンサンブル、ジャズファンクの表現を習得する。
2	他パートのメロディーやフレーズを理解し、調和した演奏を自ら表現できる。
3	曲調に準じたオリジナリティのあるフレーズや歌い回しを自ら創作表現できる。
4	それぞれの演奏についてディスカッションし、演奏者同士でのフィードバックをもとに自らの演奏を向上できる。
5	エンターテインメントにおける演奏者としての立ち居振る舞いについて分析し、理解できる。
6	実際のライブにおける、演奏の方向性やプランをバンドメンバーで共有し、一体感のある演奏ができるようになる。
7	歌詞表現に追従した演奏を習得できる。
8	モニタリングバランスによる自らの演奏への影響を体感し、最適なモニター環境を作ることができる。
9	ボーカルのキャラクターに沿った音量感やグルーブに対応した演奏ができる。
10	キーやアレンジの変更に柔軟に対応できる。
11	複数楽曲を暗譜し、ステージングを意識した演奏ができる。
12	後期テスト 自分の課題点を見つけることができる。
13	WeAre週を通して周りとの協力しなから作品をつくることができる
14	WeAre週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	【WeAre本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い自ら進める事が出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンを自ら進める事が出来るようになる。
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担を自ら進める事が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成 今期の反省、来季に向けての話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	フェーダーワークで音量バランス応用
2	既存の音源を使用し、応用的波形編集が出来るようになる
3	Rockを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
4	EQ(イコライザー)の使用方法を深く理解し、音質調整が出来るようになる
5	Funkを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
6	コンプレッサーを使用し、音量変化の微調整を出来るようになる
7	プリ・ポストの信号の流れを理解し、複雑なエフェクト調整が出来るようになる
8	HipHopを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
9	リバーブを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
10	Discoを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
11	ディレイを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
12	【定期試験】前期までに学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	オートメーション使用してフェーダーワークを自動化を応用することができる
2	Bluesを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
3	FlexTime/FlexPitchを使用し、音声補正を細かく出来るようになる
4	Countryを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
5	モジュレーションエフェクトの使用を出来るようになる。
6	Jazzを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
7	歪み系エフェクターを活用と応用
8	Bossanovaを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
9	サイドチェインの機能を応用することができる
10	Houseを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に高度に反映する事が出来るようになる
11	マキシマイザーを使用し、音圧を上げ、楽曲制作に取り入れる
12	【定期試験】後期で学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【音響技術】 PAベーシック(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍						
授業の学習内容	①心地よい音を追求し適切な音量感を学ぶ ②スピーカー、マイクの置き位置で変化する音質を学ぶ ③学校祭で回線表などのプランニングを学ぶ ④機材の状態、メンテナンスを学ぶ ⑤PCを使い 音源再生、編集を学ぶ						
到達目標	①会場に合わせた音量感を持てるようになる ②少しの置き位置で変化する音質がわかるようになる ③回線表を作成し、プランニングをできるようになる ④PCでできる作業を理解する ⑤PAベーシックで学んだことを活かし、エンジニアの引き出しを増やす						
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	DAWを使用し、編集調整を学ぶことができる①
2	DAWを使用し、編集調整を学ぶことができる②
3	機材メンテナンスの重要性を学ぶ①
4	機材メンテナンスの重要性を学ぶ②
5	スピーカーの置き位置、音量で音の変化を学ぶことができる①
6	スピーカーの置き位置、音量で音の変化を学ぶことができる②
7	スピーカーケーブルの作成方法を知ることができる①
8	スピーカーケーブルの作成方法を知ることができる②
9	マイクケーブルの作成方法を知ることができる①
10	マイクケーブルの作成方法を知ることができる②
11	マイクアレンジによる音の違いを学ぶことができる①
12	マイクアレンジによる音の違いを学ぶことができる②
13	バンドのサウンドチェックのポイントを理解できる①
14	バンドのサウンドチェックのポイントを理解できる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【音響技術】 PAベーシック(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍						
授業の学習内容	①バンド以外の演目に触れ、オペレートの違いを学ぶ ②校外イベントを通して、事前準備、チームワークの大切さを学ぶ ③ケーブルを作成し、構造学ぶ ④進級卒業公演に向けて、演目にあったオペレートスタイルを学ぶ						
到達目標	①様々な演目を経験し、エンジニアの引き出しを増やす ②技術以外の打ち合わせ、資料作成ができるようになる ③学校祭の経験を活かし、ミュージカル、卒業進級公演を成功させる ④在学中に学んだ知識、技術を活かし、卒業後即戦力になる人間になる						
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	セレモニー現場想定、オフマイクの対応を学ぶことができる
2	会場(小屋)との打ち合わせ手順、必要事項を学ぶことができる
3	機材メンテナンスの重要性を学ぶことができる
4	ミュージカル準備、使用機材を理解できる①
5	ミュージカル準備、使用機材を理解できる②
6	ミュージカル準備、回線表を理解できる
7	ミュージカル準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる
8	ミュージカル準備、校内でのリハーサルを元に現場作業を学ぶことができる
9	DAWを使いバーチャルバンドミックスを理解することができる①
10	DAWを使いバーチャルバンドミックスを理解することができる②
11	We are 準備、使用機材、作業内容を理解することができる①
12	We are 準備、使用機材、作業内容を理解することができる②
13	We are 準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる①
14	We are 準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる②
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 照明技術 】 照明ベーシック(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。							
授業の学習内容	1年次に覚えたことから更に深く照明に関する基礎知識を増やす。							
到達目標	就職に向けての心構えを身に着け、協調性と積極性を高める。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績による評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	座学、実技授業 TV照明を理解できる①
2	座学、実技授業 TV照明を理解できる②
3	座学、実技授業 機材、ケーブルメンテナンス 理解し応用に役立てることができる①
4	座学、実技授業 機材、ケーブルメンテナンス 理解し応用に役立てることができる②
5	座学、実技授業 電気基礎、理解し応用に役立てることができる①
6	座学、実技授業 電気基礎、理解し応用に役立てることができる②
7	仕込替え・仕込の段取りを覚えることができる①
8	仕込替え・仕込の段取りを覚えることができる②
9	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる①
10	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる②
11	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる③
12	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる①
13	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる②
14	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる③
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名		【 照明技術 】 照明ベーシック(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。							
授業の学習内容	1年次に覚えたことから更に深く照明に関する基礎知識を増やす。							
到達目標	就職に向けての心構えを身に着け、協調性と積極性を高める。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績による評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる
2	テキストを使用してより深い理解の為に。歴史を覚えることができる
3	高所作業 ジニーを使い安全に作業ができる
4	DMX信号、ケーブルの作成ができる
5	機材メンテナンス (機材のクリーニング、ケーブルのメンテナンス)を学ぶ
6	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる①
7	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる②
8	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる①
9	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる②
10	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる①
11	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる②
12	実技テスト用のプランニング、明り作りができる①
13	実技テスト用のプランニング、明り作りができる②
14	実技テスト用のプランニング、明り作りができる③
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	1年生で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、さらにクオリティの高い楽曲を作る技術を学びます。音楽理論やDAWテクニックはもちろん、サウンドアレンジやオーケストレーションにも理解を深めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #3
4	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #1
5	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #2
6	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #1
7	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #2
8	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #2
10	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	1年生で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、さらにクオリティの高い楽曲を作る技術を学びます。音楽理論やDAWテクニックはもちろん、サウンドアレンジやオーケストレーションにも理解を深めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #3
4	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #1
5	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #2
6	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #1
7	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #2
8	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #2
10	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【 プロデュース ミュージックビデオ制作(3) 】	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
学科・コース	音楽ビジネス科						
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける						
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。 2年時は、1年で習得してきた技術を応用し、既存の映画のように対外的な公開が可能なレベルまで引き上げるための表現方法を習得します。						
到達目標	客観的な目線で自身の制作物を評価し、再構築を繰り返し、品質をブラッシュアップすることが出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	イントロダクション 一年時に学んだことを踏まえ、二年の目標設定を明確にする事が出来る
2	ミュージックビデオ演出概論Ⅱ① カメラワークを駆使して演出することが出来る
3	ミュージックビデオ演出概論Ⅱ② 演技の差異による効果を演出出来る
4	シナリオ制作Ⅱ① 映画ドラマのテーマとコンセプトを制作することが出来る
5	シナリオ制作Ⅱ② シナリオ理論を習得し、台本に書き起こすことが出来る
6	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ① 全体工程を統括するための香盤表を作成することが出来る
7	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ② 演出プランを作成出来る
8	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ③ 本番と同じようにテスト撮影を実践出来る
9	ミュージックビデオ制作制作 出演者に演出することが出来る①
10	ミュージックビデオ制作制作 出演者に演出することが出来る②
11	ミュージックビデオ制作 動的なカメラワークを実践できる①
12	ミュージックビデオ制作 動的なカメラワークを実践できる②
13	ミュージックビデオ制作 演出の狙いを正確に表現できる①
14	ミュージックビデオ制作 演出の狙いを正確に表現できる②
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】 編集用のPCを使用します。	

科目名		【 プロデュース 】 ミュージックビデオ制作(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける							
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。 2年時は、1年で習得してきた技術を応用し、既存の映画のように対外的な公開が可能なレベルまで引き上げるための表現方法を習得します。							
到達目標	客観的な目線で自身の制作物を評価し、再構築を繰り返し、品質をブラッシュアップすることが出来る。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	前期作品の振り返り 制作したミュージックビデオを総括し、改善点を説明できる
2	編集Ⅱ① Adobe premiere proでキーフレームを用いて編集出来る
3	編集Ⅱ② Adobe premiere proで演出意図を表現するための編集を実践出来る
4	カラーコレクション① 色補正ソフトの基礎を理解することが出来る
5	カラーコレクション② 色補正ソフトで内容に適した演色を実践出来る
6	独創的なシナリオと企画を立案する事が出来る
7	Vコンテの制作が出来る
8	衣裳やメイクを用いて、キャラクター設定を具現化出来る
9	映像の色彩やコントラストで感情表現するための撮影方法を習得出来る①
10	映像の色彩やコントラストで感情表現するための撮影方法を習得出来る②
11	効果音やサウンドでの演出を習得出来る①
12	効果音やサウンドでの演出を習得出来る②
13	演出意図に沿った編集が出来る①
14	演出意図に沿った編集が出来る②
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】 編集用のPCを使用します。	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての応用知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの応用的な使い方の説明。
2	ProToolsの応用的な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの応用的な使い方の説明と実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの実践。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の実践。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	【定期試験】前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての応用知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の実践練習。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	鈴木謙太郎
教員の略歴	道内外、海外のテレビ番組、企業プロモーション、CMなどの制作						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	講師の経歴と、現在の映像業界全般について / 身の回りにある映像機器について正しく学ぶ(画面サイズなど)
2	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
3	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
4	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(基本的なエフェクト)が出来るようになる
5	テレビ画面の構成 / Adobe Illustrator、Photoshopについて、基礎的な使用方法を理解出来るようになる
6	Adobe Illustrator、Photoshopの、基礎的な使用方法が理解出来るようになる
7	アプリケーションを横断的に使って、テロップを入れる事が出来るようになる
8	Adobe Illustrator、Photoshopがより正確に使えるようになる(カーニングなど)
9	アプリケーションを横断的に使って、より実践的な画面構成が出来るようになる
10	Adobe After Effectの使い方が理解出来るようになる
11	After Effectを使って、簡単なタイトルを作ることが出来るようになる1
12	After Effectを使って、簡単なタイトルを作る事が出来るようになる2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントでの演出作品制作確認
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	鈴木謙太郎
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	道内外、海外のテレビ番組、企業プロモーション、CMなどの制作						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	ビデオコンテンツ制作を企画できるようになる
2	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる1
3	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる2
4	After Effectを使った高度な合成が出来るようになる
5	After Effectを使った高度なアニメーションが作れるようになる
6	After Effectを使ったスローモーシヨンのアイデアを考えられるようになる
7	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
8	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
9	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(マッチカット)
10	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(モンタージュ)
11	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 1
12	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントを通して演出に作品を完成できるようになる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 音楽制作 】 BandEnsemble(6)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	三藤 淳 折原 一寿
教員の略歴	三藤淳/北海道芸術高等学校講師・MIミュージックジャパン エッグ 個人レッスン楽曲制作25年 折原寿一/プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆						
授業の学習内容	課題曲を使い、各パート月それぞれ良いアンサンブルが出来るための授業						
到達目標	曲に応じてさまざまな歌い方と、アンサンブルを学び、よりスキルを上げて高い歌唱力を身につける事が目標						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	課題曲【Englishman in NY】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
2	裏拍と、スイングを感じて、脱力した歌い方で、アンサンブルできるようになる
3	課題曲【I wish】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
4	細かな跳ね具合を感じて、ややシャッフルな歌い方を身につける
5	課題曲【Street Life】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
6	グルーブを感じて、カッコ良く、疾走感のある表現ができる歌い方を身につける
7	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
8	グルーブを感じてステージなどでも役に立つパフォーマンスを身につける
9	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
10	ユニゾンの正確性と、アドリブでフェイクする技術を学び、アンサンブルをしっかりと完成させる
11	課題曲【Spain】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
12	後期テスト 自分の課題点を見つけることができる。
13	WeAre週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる
14	WeAre週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	WeAre本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 音響技術 】 楽曲制作コンペ対策 (6)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	新貝幸広
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	1986年デビュー。プロデューサー、ギターリスト、作曲家、アレンジャー、エンジニアとインディーズ、メジャー問わず幅広く活動						
授業の学習内容	コンペでの楽曲制作に必要な制作時間 授業内で必要なレコーディングやアレンジなどを行う PROTOOLSを利用しMIXING作業等 作曲やレコーディング授業と連携 新しい発想を見出す						
到達目標	コンペティションの納期に間に合うように楽曲の制作をできるようにする 制作のなかで新しい発想や違った視点でチャレンジする考え方をもてるように						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
2	課題曲②のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
3	課題曲②のアレンジを作成することが出来るようになる
4	課題曲②のミックスをすることが出来るようになる
5	課題曲②のマスタリングをすることが出来るようになる
6	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
7	課題曲③のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
8	課題曲③のアレンジを作成することが出来るようになる
9	課題曲③のミックスをすることが出来るようになる
10	課題曲③のマスタリングをすることが出来るようになる
11	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
12	課題曲④のメロディー・リズム・アレンジを作成することが出来るようになる
13	課題曲④のミックス。マスタリングをすることが出来るようになる
14	We are に向けて 作曲プレゼンテーション用楽曲を制作できるようになる
15	【定期試験】We are に向けて 作曲プレゼンテーション用楽曲を制作できるようになる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(6)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担をリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成 今期の反省、来季に向けての話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	フェーダーワークで音量バランスを取れるようになる
2	既存の音源を使用し、波形編集が出来るようになる
3	Rockを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
4	EQ(イコライザー)の使用方法を理解し、音質調整が出来るようになる
5	Funkを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
6	コンプレッサーを使用し、音量変化の調整を出来るようになる
7	プリ・ポストの信号の流れを理解し、複雑なエフェクト調整が出来るようになる
8	HipHopを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	リバーブを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
10	Discoを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	ディレイを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
12	【定期試験】前期までに学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(6)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	オートメーション使用してフェーダーワークを自動化できるようになる
2	Bluesを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
3	FlexTime/FlexPitchを使用し、音声補正を出来るようになる
4	Countryを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
5	モジュレーションエフェクトの使用方法を理解出来るようになる。
6	Jazzを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
7	歪み系エフェクターを活用できるようになる
8	Bossanovaを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	サイドチェインの機能を理解できるようになる
10	Houseを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	マキシマイザーを使用し、音圧を上げる事が出来るようになる
12	【定期試験】後期で学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	2年間で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、プロフェッショナルな音楽制作技術を身につけます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #3
4	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #1
5	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #2
6	オーケストレーション応用レベルを理解出来るようになる #1
7	オーケストレーション応用レベルを理解出来るようになる #2
8	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #1
9	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #2
10	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (6)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	2年間で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、プロフェッショナルな音楽制作技術を身につけます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #4
2	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #5
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #6
6	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #3
7	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #4
8	オーケストレーション上級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション上級レベルを理解出来るようになる #2
10	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #4
11	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #5
12	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #6
13	後期課題制作 #1
14	後期課題制作 #2
15	We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての高度な知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの高度な使い方の説明。
2	ProToolsの高度な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの高度な使い方の実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの実践と課題演習。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の実践と課題演習。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの応用実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	【定期試験】前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(6)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての高度な知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の実践。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	